

枝先に小さな鐘形の花を密に付けます。

< 植物名 >

エリカ

ジャノメエリカ(カナリキュラータ)

水やり

土の表面が乾いたら水やり。特に夏の水のやり過ぎに注意する。

置き場所

10月～4月は戸外の日当たりの良い場所、夏の間は戸外の半日陰が良い。

用土肥料

水はけの良い、酸性土壌が適する。生長期に肥料を与える。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

戸外でも越冬できるが、寒冷地では防寒の必要がある。

使い方 鉢植え、庭植え

学名 Erica canaliculata

英名

属名 エリカ

科名 ツツジ

性状(分類) 常緑低木

原産地 南アフリカ

花の色 ピンク～淡紫

開花期 冬～春

購入時期

草丈 ～200 cm

ID 4

季節 春 冬

JFコード 23487



冬越しと置き場所

日当たりと水はけの良い場所を好み、酸性土壌が適している。秋～春は戸外の日当たりの良い場所、夏は戸外の半日陰で育てると良い。戸外でも越冬できるが、寒冷地では防寒の必要がある。生長期には肥料が必要だが、夏以降は与えない方が花付きが良くなる。

その他の解説

ジャノメエリカ(カナリキュラータ)は、桃色の花色に黒の筋が目立つところから蛇目エリカの和名が付いた。よく分枝してこんもりと茂り、枝の先に小さな鐘形の花を密に付ける。突然変異種に花色の濃い紅エリカがある。

特徴1

英語ではヒース、ドイツ語ではハイデと呼ばれる(ともに“荒野”という意味)。土の表面が乾いたら水やり。過湿による根腐れに注意。特に夏の水のやり過ぎに注意する。水はけの良い、酸性土壌が適する。

特徴2

エリカには約660種あるといわれているが、そのほとんどは南アフリカ(特にケープ地方の狭い地域に種類が多い)に自生する。ヨーロッパ原産種は、耐寒性は強いが夏の暑さに弱い。南アフリカ原産種は、花が大きく花色も豊富だが、やや耐寒性に劣る。